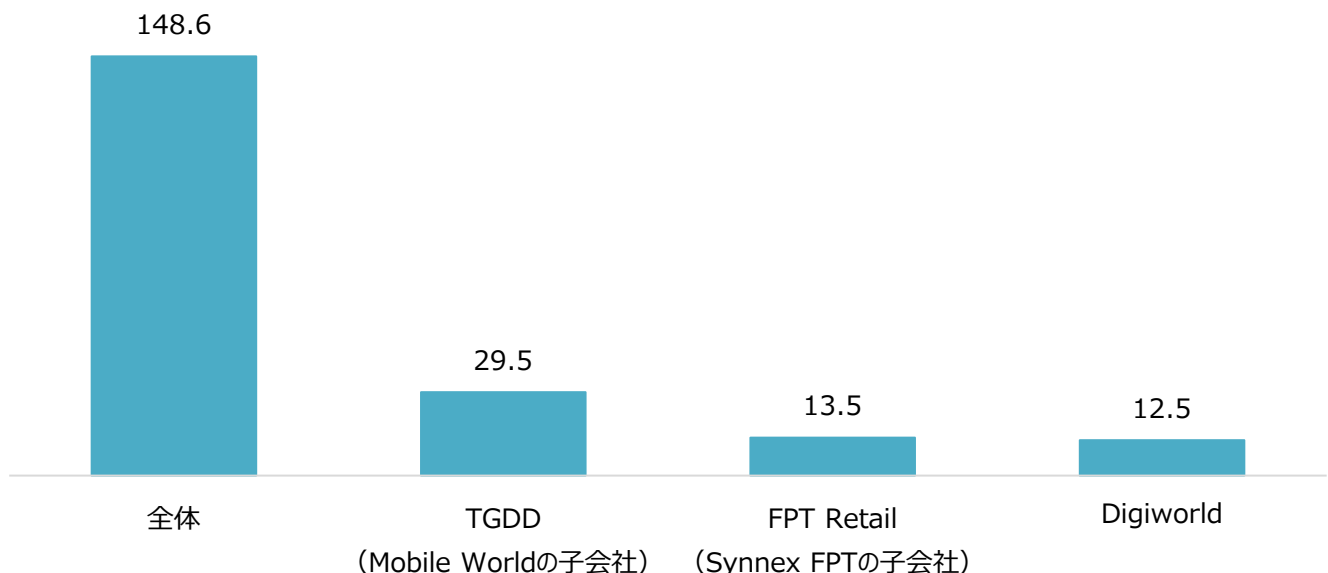


コロナ禍がベトナム電子機器市場を押し上げ

AV、家電、携帯電話、デジタルカメラなどの幅広い製品群を含む個人向け電子機器市場は、経済成長とテクノロジー好きの若年層に支えられ、拡大してきた。家電製品の小売売上高の年平均成長率（2014～2018年）は13.8%で、2018年の売上高は137兆VND（約60億USD）に達した。コロナ禍の2019年の成長率は-1.0%とマイナスに転じたが、2020年には+0.2%とプラスに回復している。Euromonitorによると、今後成長軌道に戻れば、3年程度で約100億USDに近づく見込みだ。

コロナ前のDeloitteの消費者調査（2019年）でも、電子機器は家計支出の10%を占め、回答者の33%が中位機種携帯電話やデジタルカメラなどへの支出を増やしたいと答えている。加えて、コロナによる社会隔離措置でコミュニケーションや仕事の効率化に資する電子機器への需要は、さらに押し上げられている。

電子機器小売企業大手3社の売上高（2020年：兆VND）



資料：各企業の財務報告書（2020年）、Statista

電子機器小売業界の業績は好調で、2021年上半期の売上高は首位のMobile Worldが前年比7%増の約15.6兆VND（約6.9億USD）、FPT Retail（IT最大手のFPT Group）が同13%増の約9兆VND（約3.9億USD）。

急速に伸びている分野の1つにスマートフォンがある。Appleは2020年に正規販売店を設立し、他国との価格や発売時期の差を最小限に抑え、ベトナム市場に浸透すべく一気に攻勢を強めている。2021年秋のiPhone 13の販売初日には、FPTは5,000台の販売を記録している。一方Samsungは2021年9月にベトナムでの生産拡大を発表し、国内需要の増加にも対応する構えだ。

Mobile Worldは最近、地方小売店との連携を開始している。商品が売れる度に5～20%の手数料を支払う仕組みで、地方小売店にとっては投資や在庫負担が軽減し、品揃えを多様化できるなどメリットが多い。消費者にとっても、標準価格での購入やアフターサービスの利用が可能となる。従来、地方では量販店が進出しておらず、地元商店は価格が高くサービスにも課題が多かったが、人口や所得の拡大により地方の重要性が増している。Mobile Worldは競争が少ないうちにパイオニアとしての地位を固めようとしている。

パンデミックが続き、ニューノーマルはライフスタイルとして定着しつつある。消費者はリモートで多くのことが実現できると感じ、家庭での電子機器に対する需要は益々強まりそうだ。

参考資料：

1. <https://www2.deloitte.com/content/dam/Deloitte/sg/Documents/consumer-business/sea-cb-vietnam-consumer-survey-2020.pdf>
2. <https://hkmb.hktdc.com/en/1X0AJMJN/hktdc-research/Vietnam%E2%80%99s-Consumer-Electronics-Market-Online-and-Offline-Sales-Channels>
3. <https://www.statista.com/forecasts/1246666/vietnam-consumer-electronics-market-revenue-growth>
4. <https://www2.deloitte.com/content/dam/Deloitte/sg/Documents/consumer-business/sea-cb-vietnam-consumer-survey-2020.pdf>
5. <https://cafef.vn/fpt-shop-doanh-so-iphone-13-pha-ky-luc-voi-5000-may-thu-ve-200-ty-dong-tu-apple-fan-chi-trong-1-ngay-20211023171817889.chn>
6. <https://vnexpress.net/samsung-du-dinh-mo-rong-nha-may-tai-viet-nam-4350996.html>
7. <https://thanhnien.vn/mo-hinh-moi-cua-the-gioi-di-dong-tieu-thuong-vung-sau-khong-nen-bo-qua-post1069548.html>